

マスクに守られた コンサートレポート

コロナ禍の中、第6回定期演奏会開催 千葉シニアアンサンブル・それいゆ寺島昭夫

昨年6月開催予定であった「第6回定期演奏会」はコロナ禍のため今年に延期。昨年2月24日より練習休止、6月8日練習再開。さて翌年の定演に向け何か目標を作ろうと役員会で検討し、秋に演奏会を開くことにしました。そんな折千葉市長が「こんな時こそ市民の文化活動を促進しよう」と市議会に提案する旨FBで知り関係先と調整。美浜文化ホールを無料利用できることになり、数回のリハーサルを重ね11月にスペシャルコンサートを開くことができました。150名限定で予約受付し156名の申込み、当日は感染拡大を怖れた方々が欠席、結局120名が来場。練習してきた新曲も披露でき良い経験でした。

年明けに再度緊急事態宣言の発令、会場も使用不可で漸く3月8日に練習再開。限られた時間の中再度演奏曲目を検討し集中練習。クラシック・日本の調べ・タンゴ青春の思い出の曲の4ステージ。特に皇帝円舞曲には十分時間をかけ、そしてアンコールはオリンピックマーチ。本番は十分な感染対策を採り、入場数も1/3に制限、事前予約制としました。団員経由と300通のDM、ミニコミ紙二紙での情宣で290名を受付。「待ってました」「開催してくれてありがとう。絶対行くわ」等多くの励ましの言葉を頂きましたが、直前の蔓延防止政策による外出自粛やワクチン接種日等での取消もあり、結局238名が来場。この日まで練習時間や会場確保に神経を使いましたが、90分の演奏会も無事に終了。思い出深い演奏会となりました。県内の団の方々からも温かい応援をいただき感謝に堪えません。新入団員も増え、11月21日の演奏会に向け体をメンテしながら明るく和やかな雰囲気の中で「音を楽しむ」活動に取り組んでいます。



東金シニアアンサンブル 第3回演奏会 東金シニアアンサンブル 副代表 其原章治

去る5月23日（日）、昨年から1年延期しての第3回演奏会を開催いたしました。会場となる東金文化会館でもコロナ禍で感染防止のため、収容人員を半数に制限する条件が付きましたが、来場希望者には事前の予約をお願いして、リミット75%の128名をお迎えできました。

参集しての練習がままならず仕上がり遅く、延期すべきではとの声も上がる中、当初の計画から曲数を減らして2部構成とし計11曲を演奏することにしました。前半は「音の彩り」と題し、2ヶ月後に迫った東京オリンピックにちなんで五輪マークの5色がタイトルに入った曲でスタート。「碧空」「イエローサブマリン」「黒いオルフェ」「グリーンスリープス」「赤いスイートピー」と快調に続き、今演奏会最大の目玉曲「ペルシャの市場にて」も何とか無事にお届けすることができまし



ることができまし。10分間の休憩を挟み、後半は季節を歌う曲を揃え、「春の歌メドレー」「早春賦」「真っ赤な太陽」「思い出の夏」、そして軽やかに「Top of the World」で締めました。演奏毎に頂く割れんばかりの拍手に励まされ、心地よい緊張感の中、楽しく最後まで乗り

切ることができました。今までは当たり前だったアンコールに応える事も、終演後ロビーで来場者と触れ合う事も今回は避けなければならず、ステージ上からのお別れとなったことが心残りとなりました。

たくさんの曲をアレンジして下さる生駒先生からは「編曲者の想いをよく表現したい演奏であった」とうれしいお褒めの言葉を頂きました。大野先生の指揮・指導のお蔭で改めて感謝です。又、曲数を減らしたことが結果としてシニアメンバーの集中力と持久力の維持につながったのではと。手前味噌かもしれませんが、若干のヨタつきはあったもののそれなりの演奏ができたと思っています。中でも、ピアノとドラムが加わったことで脇の締まった布陣になり、演奏に安定感と厚みが加わったと感じています。

いつもながら、アンケートには温かいお言葉、鋭いご指摘、助言などを頂きました。中でもこのコロナ禍によくぞ開催してくれたとの言葉が多く、反省会で読み合わせて改めて感謝した次第です。やはり演奏会は『やって良かった!!』2021東京オリンピック、パラリンピックも『やって良かった!!』とならん事を願って止みません。